

令和4年度 学校関係者評価委員会 総評

認定こども園 中島幼稚園わくわく保育園

子どもたちの育ちを支えるにあたり、保護者の皆様はもとより、関係者評価の実施を今年度も行って参りました。一年間の委員会実施内容と共に、保育活動を通しての総合的な評価、ご意見やご感想を頂戴し、総評を公表させていただきます。

今年度の活動内容

日程	内容	参加者
5月27日(金)	【第1回学校関係者評価委員会】開催 当園の教育・保育方針と 令和4年度重点目標について	学校関係者評価委員5名 園職員3名
7月7日(木)	【第2回学校関係者評価委員会】開催 保育参観の実施	学校関係者評価委員6名 園職員7名
8月	職員による教育・保育の中間評価・見直し	
10月26日(水)	【第3回学校関係者評価委員会】開催 公開保育の実施	学校関係者評価委員6名 園職員7名
12月	職員自己評価の実施 ホームページにて結果公表	
2月	保護者による学校評価アンケート実施 ホームページにて結果公表	
3月8日(水)	【第4回学校関係者評価委員会】開催 一年間のまとめ	学校関係者評価委員6名 園職員7名

総評

保育・環境について

- 発達段階から10の姿をよく捉えており、ここから小学校へ、更には中高大学へと繋がっている。
- 子どもたちが疑問に思ったことを自分で調べていると聞き、今はパソコンやタブレットなどをつかう時代だと思った。自分で調べて考えて学ぶことが大切。
- 衣装づくりは先生がやっているかと思ったら、子どもがやっていることを知った。
- グループ討議は何人くらいでやっているのか、意見がまとまるのがすごい。
→ クラスのみんなで丸くなって話すコミュニケーションサークル(サークルタイム)。自分たちからでた意見に価値がある。
- とても自然を活かして、子どもが発想し遊びが展開しているのが伝わった
- 子どもの姿から声をひろいクラスで活動がはじまり、そこから園全体へ広がっている。そしてみんなが満足感を得ているのがとてもよく分かった

職員について

- 日々、先生方のご苦勞が分かる。そして、子どもも日々変化していることがこの一年間でよくわかる。
- ドキュメンテーションは大変でしょうが先生方の思いが伝わってくる。
- 主体的で対話的などあるが、中島は子ども中心にやっており、先生たちが子どもたちの声をひろっているのが伝わってきた。
- 毎日の遊びも子ども中心にやったださっていることがとてもよくわかった。先生たちの想像力がスゴイ！
- 園では今こんなことをしています、とわかると保護者にとってもいいのではないか。
- 幼稚園には教科書がない。1ページ分が1カ月にも2カ月にもなる事があるだろう。先生はお兄さんお姉さんみたいなものかな。先生と子どもの距離が近い。
- 小さいクラスは本当に教師と一人ひとりの子どもとの関わりが密で、目配り気配りがなされていて感心しました。その中で一人ひとりの良さを見つけ、言葉で他者に紹介したり子どもの想いを代筆したりして、関わりの中で子どもの学びを広げていて素敵だなと感じました。
- 本取り組みや教師の関わりは、子どもたちの発達段階に応じた資質・能力の育成に大変有用であり、大きな成果を果たします。常にダイナミックな取り組みばかりとはいかないと思いますがこの経験を普段の中で発揮しているところを大人（教師さらには家庭）が見逃さず価値づけ励ましていくことが大事だと感じています。

最後に

幼児教育は根っこの部分であり、目に見えにくい育ちであります。目の前の子どもの姿に学び、職員がひとつのチームとなり、お互いの仕事や言葉に耳を傾け、保護者や地域の方、評価委員会の皆様のお力を借り運営を行ってきました。今年度の振り返り等で見えてきたことを学び、更なる保育者の資質向上へと繋げていきます。